

## 『良友』画報と上海の美術分野を中心に（2018年度～2020年度）

孫 安石／村井 寛志／鈴木 陽一

『良友』画報を取り上げた本共同研究は、2017年度に言語研究センターの出版助成を受け、孫安石・菊池敏夫・中村みどり編『上海モダン『良友』画報の世界』（勉誠出版、2018年3月）を上梓し、2018年からは『『良友』画報と上海の美術分野を中心に』というテーマで新たな研究をスタートした。すべての共同研究の活動記録は、研究会HPの<http://liangyou.jugem.jp/>に内容を一般公開しているが、以下、主だったものを記す。

（1）『上海モダン『良友』画報の世界』合評会  
（6月9日）の実施

日時：2018年6月9日（土曜）

場所：神奈川大学・横浜キャンパス20号館212室

内容：（1）『上海モダン「良友」画報の世界』合評会

1 文学の視点から（鈴木 将久、東京大学文学部）

2 地図と場所への視点から（木之内誠、首都大学東京）

3 テーマを限定せず、感想をいくつか（邵迎建、東洋文庫研究員）

（2）資料・研究会の紹介記事

◎上海租界工部局 董事会会議録 1854～1943年  
The Minutes of the Shanghai Municipal Council.  
From Shanghai Classics Publishing House and  
Shanghai Municipal Archives. Contents: 14,758  
pages. 上海工部局の方針決定組織であった董事  
会の1854年7月から1943年12月まで会議録。議

題は、公衆衛生、交通、通信、郵便、租税、都市計画、ガス供給、街路照明、人力車夫の管理、動物保護、警察等、多岐にわたる。1854年7月から1906年12月までは手書きで、それ以降はタイプ文書。89年間におよぶこの会議録は、湾岸の小都市から中国の商業中心地へと変化を遂げた上海はもとより、近代国家建設、国共内戦、日中戦争といった中国の激動の歴史をも反映する資料となっている。

#### ◎上海租界工部局公報

Shanghai Municipal Council: The Municipal Gazette, 1908-1940. From Shanghai Library. Contents: 14,824 images. 上海共同租界の日常問題やインフラを管理した西洋人によって1854年に組織された上海工部局 (Shanghai Municipal Council) は、1880年代半ばには都市の商業を実質独占するようになり、ガス、電気、水道等を管理し、さらにはアヘン販売も規制した。Municipal Gazette は、公式機関紙として1908年から1940年まで刊行された。毎週金曜日に発行され、通知、各部門の報告、読者からの手紙、議事録、予算、歳入の月間集計、収入と支出の決算書などが掲載されている。

◎神奈川大学言語研究センター NL、2019年、No45号に「『良友』画報の研究とその周辺の話—近代電影研究資料彙編の解題を兼ねて (1)」

◎神奈川大学言語研究センター NL、2020年、No46号に「『良友』画報の研究とその周辺の話—近代電影研究資料彙編の解題を兼ねて (2)」

◎英国の Science Impact 社の雑誌「Impact」(2021年2月号)「Critical Thinking in Social Sciences」特集号に「How Europe, the US and Asia impacted each other's society」(Professor An-suk Son 孫安石) が掲載された。

(3) 「円卓会議—中国・上海都市研究の新動向」の実施

日時：2018年11月9日(金)・10日(土)

場所：中国・上海社会科学院

共催：神奈川大学非文字資料研究センター・上海社会科学院歴史研究所

《プログラム》(一部)

#### 【報告】

①『良友』画報の論文集刊行後の余談—スポーツとKODAK、そしてShanghai Municipal Council 英文資料について (孫安石、神奈川大学非文字資料研究センター研究員)

②上海文化と香港・華僑 (村井寛志、神奈川大学非文字資料研究センター研究員)

③『良友』画報の研究—百貨店 (菊池敏夫、神奈川大学非文字資料研究センター研究員)

④都市上海の中の創造社作家たち (中村みどり、早稲田大学商学学術院准教授)

⑤中華民国期上海の日本人「戯迷」たち (森平崇文、神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学部准教授)

⑥「中国料理」はいつ生まれたのか—人民共和国初期の北京と上海 (岩間一弘、慶應義塾大学文学部教授)

⑦上海のキリスト教—戦後、そして現在 (石川照子、大妻女子大学比較文化学部教授)

⑧中華民国期の「漫画」と「キャラクター」(城山拓也、立命館大学言語情報センター外国語嘱託講師)

#### (4) 書評の掲載

孫安石・菊池敏夫・中村みどり編『上海モダン「良友」画報の世界』(勉誠出版、2018年3月)については、以下の書評が掲載された。

1、邵迎建「上海モダン<良友>画報の世界を読む」(日中人文社会科学学会編『知性と創造—日中学者の思考』第10号、2019年2月)

2、白戸健一郎「上海モダン—『良友』画報の世界」(書評、『中国研究月報』、2019年、第73

号No.4)

3、木之内誠「阮玲玉と『良友』の路地裏—上海モダンの「かくれた次元」としての空間性をめぐって」(『人文研究』第197号、2019年3月)

(5) 研究会の開催

その他、神奈川大学非文字資料研究センター租界・居留地班 第65回研究会(7月18日、zoom)との共催として、

1 日時：2020年7月18日(土曜)

場所：zoom会議

「戯単研究の可能性—1950年代上海を例に」森平崇文(立教大学、教授)

2 日時：2020年8月26日(水曜)

場所：zoom会議

「吉田初三郎の鳥瞰図への誘い」劉建輝(国際日本文化研究センター、教授)を開催した。

(文責 孫安石)

